

第二六五回松山市観光俳句ポスト

第265回開函

「泉」主宰 上原 白水 選

特選三句

へちま忌に母の小さき背を洗う

東京都西東京市 市原 育江

春風に誘われ妻と道後の湯

栃木県宇都宮市 大柿 二郎

出迎への父の伊予弁あたたかし

大阪府茨木市 宮内 暁子

入選二十句

岬まで次の百キロ遍路道

神奈川県藤沢市 青木 敏行

城はるか松山の街花がすみ

秋田県大館市 伊藤 郁夫

梅二月香につつまれる子規の句碑

北海道札幌市 白井 栄三

夕食のメニューに伊予の櫻鯛

滋賀県彦根市 岡地 京子

春うらら君といっしよに子規訪ね

東京都練馬区 金山 栄一

親不孝わびつつ歩む遍路道

徳島県徳島市 木内 和美

再びの道後の約束母と孫

東京都世田谷区 河野 静香

椿の湯ゆったり美人になりました

滋賀県粟東市 小谷 知里

子規俳画に残る淡色あたたかし

滋賀県守山市 茂森 美代子

温かい人の心と道後の湯

滋賀県蒲生郡 竹村 文栄

春おぼろ子規と漱石あるやうな

東京都江東区 土田 和美

銃眼の個々の沈黙花の城

奈良県生駒市 中野 庸二

松山にほころぶ梅や夫婦旅

島根県仁多郡 松崎 智昭

春うらら親子三代道後の湯

滋賀県湖南市 丸山 香里

坊ちゃんの間に入る春の小さき旅

岡山倉敷市 行藤 貴子

(市内)

娘はいつも春風つれて帰りきし

愛媛県松山市 白井 宏

流鶯にひかれてそぞろ歩きかな

愛媛県松山市 高橋 三芳

一遍の話にもどる落葉焚き

愛媛県松山市 西山 たかし

(十五歳以下)

雪だるまぽつんと一人さみしそう

鳥取県東伯郡 熊澤 陽香

お花見でぼっちゃんだんごおいしいな

広島県廿日市市 こうの けんた

投句総数

市内 一七六三

市外 一二六三

投句者総数

市内 一〇九七

市外 七九六

市内 三〇一

開函日 平成二十六年三月三十一日